

(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第3回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会
開 催 日 時	平成30年8月30日(木) 14時00分 開会 15時25分 閉会
開 催 場 所	議会議事棟 第1・2議員控室
出 席 者 氏 名	【推進委員】 山野寺委員、小寺委員、横山委員、信太委員、田村委員、川上委員、 村田委員、青砥委員、水島委員、
欠 席 者 氏 名	土門委員
事務局職員職氏名	広島総務部長、伊藤政策担当主査、長尾政策担当
議 題	1 開会 2 美幌版総合戦略に基づく事業効果検証について 3 基本戦略ごとの数値目標・KPIについて 4 その他 5 閉会
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	—
会 議 資 料 の 名 称	<ul style="list-style-type: none"> ・美幌版総合戦略の効果検証方法等について ・美幌版総合戦略 事業一覧 ・平成30年度 美幌版総合戦略に係るH29事業実施結果報告 ・まち・ひと・しごと総合戦略 数値目標・KPI
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>それでは、定刻約1分前ですが、出席者全員揃いましたので、平成30年度第3回目のまち・ひと・しごと創生推進委員会を開催させていただきます。なお、本日の案件につきましては、先月実施いたしました残りの部分を、今日、最終的に全て終らせていただくというスケジュールになろうかと思っておりますので、1時間半、3時半を目途に終了したいと思っておりますが、もし残った場合につきましては、若干延長させていただきますながら進めさせていただきたいと思っておりますので、皆さんのご協力、よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、この後は座って進めさせていただきます。前回の資料、全員お持ちいただいているということでよろしいでしょうか。前回の資料、今日使わせていただくのと、既にテーブルの方に配置している書類につきましては、差し替えがある様ですので、基本戦略4の段階から資料差し替えということで、後ほど事務局の方から新しい差し替えの部分についての説明をいただく手順になっています。</p> <p>まずは、基本戦略3のNo.10から始めますので、前回の資料を出していただきたいと思っております。よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、次第2「美幌版総合戦略に基づく事業効果検証について」ということで検証の方につきましても1つ1つ説明いただいて、意見、それから外部評価をしますので、よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、基本戦略3、No.10「子育て支援対策事業」から説明をお願いたします。</p> <p>次第2 美幌版総合戦略に基づく事業効果検証について</p>
長尾政策担当	<p>それでは早速、前回の続きから効果検証に入らせていただきます。</p> <p>前回欠席された委員の方もおりますので、簡単ではございますが検証方法の説明をさせていただきます。</p> <p>まず、お配りしていますA3の資料をご覧ください。こちらにはそれぞれの担当部署で記載されたものです。推進委員の皆さまには、⑨「外部有識者からの評価」をしていただくこととなります。評価方法ですが、まず、⑨欄の左側の「事業の評価」を3択から選んでいただくこととなります。この選択項目は、⑤欄の担当部署が自己評価した内容と同じ項目になっており、「指標値を達成し事業効果があった」「指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める）」「指標値を達成できず事業効果はなかった」から選んでいただきます。そして、こちらから実績や評価理由等を説明しますので、それについて意見やご質問をいただき、担当部署が評価したものに意義がないかどうか、委員会として1つの結論を出していただきます。その上で意見や提案、改善点などが更にあれば、⑨欄の「外部有機者からの意見」としてまとめていきます。</p> <p>それでは検証に入ります。「子育て支援対策事業」ということで、事業内容は、0歳児から2歳児までの民間保育所利用者に対し、保育料、町立保育所との差額分を支援するというもので、平成28年度に行った多子軽減を平成29年度、更に拡大し支援を行っております。平成29年度の実績として約18,377,000円、指標は保育料利用負担軽減者数50名としております。実績が平成29年度57名、事業効果は「達成し事業効果があった」としており、評価理由として、低年齢児及び多子世帯の保護者に対し、保育料の負担軽減が図られたということです。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>今後の方針ですが、「事業の継続」、その理由として、町内全ての保育所においても多子軽減を実施しているが、今後も継続して実施するとしております。以上です。</p> <p>はい、ありがとうございます。No.10「子育て支援対策事業」につきまして説明していただきましたが、委員の皆さんから何かご意見等がございましたら挙手をお願いしたいと思います。よろしいですか。</p> <p>それでは、⑨の外部有識者からの評価につきましても、担当部局同様、指標値を達成し事業効果があったとさせていただきたいと思います。それでは続いて、No.11番よろしく申し上げます。</p>
長尾政策担当	<p>続いて「地域子育て支援センター事業」です。こちらの事業内容は、乳幼児の保育に関する相談に応じ、情報の提供及び助言を行うとともに、子育てサークルへの支援等を行うというものです。平成29年度の実績額は約4,168,000円、指標は利用者延べ人数8,000名、平成29年度の実績は8,347名で、「指標値を達成し事業効果があった」としております。</p> <p>評価理由として、一時預かりに対するニーズの増加に対応したことやセンター自由開放への利用者数の増加により利用実績が増えており、地域の子育て支援センターとしての役割を果たしたとしております。</p> <p>今後の方針は、子育て支援には必要な施設であり、今後もリピーターが増えるような魅力ある行事等を考えると、「事業内容を見直し発展させる」としております。以上です。</p>
横山会長	<p>ただ今説明の事に関しまして、何かご意見等ございますか。よろしいですか。</p> <p>それでは、担当部局同様、達成し事業効果があったと外部有識者からの評価もさせていただきたいと思います。</p> <p>それではNo.12、お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>続いて、「一時預かり事業」です。こちらは、保護者や家族の病気等で、不家庭での保育が困難になったときに、満1歳児以上就学前までの子を一時的に預かるという内容です。平成29年度の実績は約4,646,000円、指標は一時預かり利用日数350日、平成29年度の実績は566人で「指標値を達成し事業効果があった」とし、理由として、保護者の就労形態の多様化や保護者の疾病や家族の疾病による付き添い等、一時的な保育を実施したことにより、児童の福祉の向上が図られたとしております。</p> <p>今後の方針として、緊急的なセーフティーネットとしての役割を担い続けるため、事業を継続していくとしております。以上です。</p>
横山会長	<p>何か委員の皆さまからご質問等ございますか。</p> <p>無いということで、外部評価につきましても部局同様、達成し事業効果があったとさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、No.13をお願いします。</p>
長尾政策担当	<p>はい。「放課後児童健全育成事業」です。こちらは、保護者が昼間就労・留守などにより保育が出来ない小学生の児童を対象に、適正な遊び場及び生活の場を与え、児童の健全育成と福祉増進を図るというものです。実績は約31,076,000円、指標は学童保育所利用者数140名とし、これに対し、平成29年度の実績は160名のため「指標値を達成し事業効果</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>があった」としております。こちらの理由としまして、保育が出来ない小学生の児童の健全育成と福祉増進が図られたとしております。</p> <p>今後の方針としまして、「事業内容を見直し発展させる」とし、理由として、現在は小学校3年生までが対象ですが、学年拡大実施の要望があるため、実施に向けて協議・検討中であります。また、平成31年度からは4年生まで拡大予定、平成32年度には5年生まで、平成33年度は6年生までと順次拡大予定をしているとのことです。以上です。</p>
横山会長	<p>今の説明につきまして何かご意見等ございますか。どうぞ、村田委員。</p>
村田委員	<p>平成30年度の予算の関係ですけど、140人で指標は変わっていないんですけど、今後の方針から見ると、どんどんこれから大きくなって行くし、実質160人本年度はあったということなので、指標を変えなかった理由というのは、まだ検討中だからということなのではないでしょうか。</p>
広島総務部長	<p>実際は、美幌、東陽、旭と学区ごとに学童があり、定員が50名で最大の受け入れが150名で、今回160名というのは、その中で入り繰りがあって、人が変わってということだと思うのです。年次的に増やす計画を持っているのですが、学校の校舎の中で場所が確保出来るかどうかという問題もあって、計画はしているけど、先ほど事務局により説明した形で、条例上は6年まで受け入れすることになっているのですが現実的には出来ていない。今、150名が上限の定数なので、指標としては140名で動かさないでいるということになっています。要望はあるのですが、キャパと学童指導員が確保出来るかどうかということもあって、これが大きな問題かなと思っています。指導員は指導員の要求があるものですから、そこがなかなか確保も、人数を増やしてキャパを増やして行くのは追いつくかどうか課題としてあると考えている。指標自体は140名で動かしていません。定数が今のところ変わっていないので。</p>
横山会長	<p>よろしいですか。</p>
村田委員	<p>はい。</p>
横山会長	<p>今のは、平成30年度の指標値であって、実質平成31年度から今度4年生を対象に入れたときには、平成31年度の指標値で見直しを図るということですね。わかりました。</p>
広島総務部長	<p>多分、各学童の定数も増やして行かなければいけないと思いますので。</p>
横山会長	<p>他、何かご意見等ございますか。</p> <p>無い様でありますので、外部評価につきましても達成したということにさせていただきたいと思います。</p> <p>それではNo.14、お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>はい。「子育て世帯応援事業」です。こちらの内容は、高校生以下の子どもを養育している方に対し、スマッピーカードでチャージすることで、プレミアム率50%の商品券を発行するといった事業となっています。平成29年度の実績額は2,995,000円、指標は商品券利用率95%、これに</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>対して平成29年度の実績値は99.8%であるため、「指標値を達成し事業効果があった」としております。その理由につきましては、99.8%の利用率からも、十分な消費喚起及び子育て世帯等への支援が図られたと評価しております。</p> <p>今後の方針としまして、「事業の継続」とし、商店街の活性化により、商工業者の所得向上が図られるとともに、子育て世帯への支援により、経済的負担の軽減が図られるためとしております。なお、この事業は、広報やホームページ、チラシを全戸配布、スマッピーカードを持っていない人についてもチラシ等で十分に周知をしております。以上です。</p> <p>はい。ただ今説明いただきました部分につきまして、何か皆さんから。はい、村田委員どうぞ。</p>
村田委員	<p>今後の方針の理由ですけど、子育て支援が先に来るべきであると思う。それで、商店街の活性化より先に「子育て世帯への支援により経済的負担に軽減が図られて、そして、商店街の活性化により、商工業者の所得向上が図られた」とすべきだと思いますけど。</p>
小室政策主幹	<p>そうですね。基本は、子育ての方の支援の関係ですので、こちらの方が先に来て、なおかつ、商店街の活性化が図られたということで、これは原課の方と相談して訂正させていただく形になろうかと思えます。</p>
横山会長	<p>村田委員よろしいでしょうか。</p>
村田委員	<p>はい。</p>
横山会長	<p>他、何かご意見等ございますか。</p> <p>それでは、ご意見無い様でありますので、外部評価につきましても、部局同様、達成し事業効果があったということにさせていただきたいと思えます。また、今後の方針につきましては、今、小室主幹からご説明がありました通り、部局との確認をとって、そういう形の変更をお願いしたいと思います。</p> <p>それではNo.15、よろしく申し上げます。</p>
長尾政策担当	<p>続いて「子育て世帯禁煙サポート補助事業」です。こちらは、子育て世帯の喫煙者に対し、禁煙治療に要する費用の一部を補助するというものです。平成29年度の実績額が11,200円、指標は補助対象者数20人、これに対して平成29年度の実績値は2人となっており、「指標値を下回ったものの事業効果があった」としております。その理由としまして、禁煙治療者に対し継続的な連絡を行い、治療者に禁煙への意識を維持してもらうことで成功へと導いており、禁煙成功者からの評価は高いとしております。また、実績値が指標値を下回った理由として、若い世代は健康に対する関心が低く、禁煙の動機付けが難しい状況ということからです。</p> <p>今後の方針としましては、「事業の継続」、その理由として、平成30年度より、支援対象の子育て世帯を中学生までから高校生までに拡大し、たばこの害から治療者本人と特に健康上の配慮を要する高校生までの子供を守り、健康推進を図り続けるためとしております。以上です。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>ただ今の説明につきまして、何か皆さまからご意見があれば、お伺いしたいと思います。よろしいですか。</p> <p>それでは、意見が無いということで、数値は下回りましたが、一応効果があったと、部局同様の外部評価をさせていただきたいと思います。それでは次No.16、お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>次は「乳幼児等医療費助成制度」についてです。こちらは、乳幼児等の医療費を補助することで、子育て世帯への経済的支援を行うというものです。平成29年度の実績額は約23,772,000円、指標は乳幼児医療費受給者数811人、平成29年度の実績値は827人ということで、「指標値を達成し事業効果があった」としております。その理由としまして、対象世帯及び転入世帯に対して医療証を配付し、経済的支援が図られたとしております。</p> <p>今後の方針につきましては、子育て世帯の経済的支援について、住民意向として対象年齢の拡大要望があるため、「事業内容を見直し発展させる」としております。以上です。</p>
横山会長	<p>何か、ご意見等ございますか。ちなみに、「住民意向として対象年齢の拡大要望があるため、事業内容を見直し発展させる」という部分ですけど、拡大要望があるとは、年齢をどこまでの拡大を今の段階で要望があるのか。</p>
長尾政策担当	<p>まず、平成30年8月から「子ども医療費助成制度」と名称を変えておりまして、小学生の通院、入院、中学生の入院のみだったのが、中学生以下の通院、入院にして、事業拡大されております。さらに、要望としましては、まずは様子見の段階ですけど、高校生や大学生まで対象拡大している町がありますので、今後検討したいという方向でと、担当から聞いております。</p>
横山会長	<p>他、何かご意見等ございますか。</p> <p>それでは、意見が無いということなので、達成し事業効果があったということにさせていただきます。</p> <p>それでは、続いて基本戦略4のNo.1をお願いします。</p>
長尾政策担当	<p>「空き店舗活用事業」です。空き店舗を活用して新規企業・チャレンジショップ支援などを行い、街中に賑わいや活力を創出するという事業です。平成29年度の実績額が337,500円、指標は空き店舗活用件数2件、平成29年度の実績値は3件としております。事業効果は、「指標値を達成し事業効果があった」ということで、中心市街地の空き店舗の減少が図られました。今後の方針として、「事業の継続」、その理由として、空き店舗の解消を促進することにより商店街の活性化が図られるためとしております。以上です。</p>
横山会長	<p>何か委員の方からご意見等ありますでしょうか。</p> <p>意見が無いということですので、指標値を達成し事業効果があったと外部有識者からの評価もさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは次No.2、お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>続きまして「消費喚起プレミアム商品券発行事業」です。これは、先</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>程子育て支援の関係で出た事業と同じで、スマッピーカードにチャージすることで、プレミアム率30%の商品券を発行するといった事業です。平成29年度の実績額は5,397,500円、指標は商品券利用率95%としております。実績値は99.9%ということで、「指標値を達成し事業効果があった」としており、99.9%の利用率からも十分な消費喚起が図られたとしております。</p> <p>今後の方針として、「事業の継続」、その理由として、商店街の活性化により、商工業者の所得向上が図られるためとしております。以上です。</p> <p>何かご意見等ございますか。</p> <p>それでは、意見が無いということで、指標値を達成し事業効果があったと、外部評価をさせていただきたいと思っております。</p> <p>それではNo.3をお願いします。</p>
長尾政策担当	<p>「住宅リフォーム促進事業」です。こちらは、住宅の改修に要する費用の一部を助成する事業で、50万円以上の改修工事に対して、費用の20%以内、限度額50万円を助成しております。平成29年度の実績額が29,795,000円、指標は制度利用件数130件、これに対し、実績値は94件、その効果としましては、「指標値を下回ったものの事業効果があった」としており、その理由としまして、平成23年度から実施した当該事業は、平成29年度までの7年間で、964件、約23億2千万円の工事契約高を積み上げており、住環境の整備並びに地域経済の活性化に寄与したと評価しております。また年に100～150件の一定の需要を見込んでおり、その幅の中で年度により実績値にバラツキがあることはやむを得ないと判断しているとのことです。</p> <p>今後の方針は、本事業により、居住環境の整備が促進されるため、「事業の継続」としてまいります。以上です。</p>
横山会長	<p>何かご意見等、委員の方からございますか。</p> <p>それでは、外部評価につきましても、部局同様、数字的には下回っておりますが、受けた部分につきましても、それぞれの住居並びに業者に対しての効果があったと外部評価もさせていただきたいと思っております。</p> <p>それではNo.4をお願いします。</p>
長尾政策担当	<p>続いて、地域住民の足となっております「ワンコインバス、乗合タクシー等利用促進事業」です。こちらは、路線バス、ワンコインバス及び町が運行する混乗スクールバス等の維持確保や利便性向上を目的とした事業です。平成29年度の実績額が約23,514,000円、指標は利用者数36,000人、実績値としましては33,294人、そのため、「指標値を下回ったものの事業効果があった」としております。こちらの理由は、⑥欄の通りですが、人口減少に伴う全体的な利用者の減少や美幌高校線を利用する生徒の減少が影響していると考え、また、バス停の変更やルートの一部見直しなどにより利便性の改善をしていますが、全体的に利用者の減少傾向に歯止めがかかっていない状況とのことです。</p> <p>今後の方針としましては、利用実態の検証と住民ニーズを把握しながら、利便性の向上と利用促進を図り、公共交通の維持確保を推進したいとのことで、「事業の継続」としてまいります。以上です。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	何か皆さんの方からご意見等ございますか。はい、村田委員どうぞ。
村田委員	⑥の理由のところの上から4行目、「国への申請のため高い目標値が設定されています」と書いてあるけど、補助もらうために不可能な数字を出しているのと取られるのではないかと思うのですが、こういう文章を入れるのは、どうかと微妙なのですが。実際はそうなのかもしれないけど、ここでそれを書くのはどうなのか。
広島総務部長	実際はそうなのですが、「1日何人以上乗らないと補助金の対象になりません」ということで、申請の段階は1日クリアするような延べ人数上げるのですが、実際の乗降者数はそれ程居ない。正直に書きすぎだという感じはします。ただ、平成28年度から29年度と比べると、乗降者数は市内を走っている循環バスだとか高校線だとか、乗り合いタクシーを含めると人数はトータルとして増えてはいる。K P Iの数字が高すぎる。だから、補助に合わせて設定することが必要なのかも検討しなければいけないと思います。多分、この数字は、補助上は変えられないと思いますけど、これに辿り着くには相当苦労しないとK P Iを達成出来ないと感じるので、原課とも含めて検討させていただきたいと思います。この文言は削ります。
横山会長	<p>他ございますか。</p> <p>意見が無い様でございますので、今言った部分につきまして、部局と協議をしていただいて文言等の修正並びに削除をよろしくお願ひします。それでは外部評価につきましては、部局同様、数値的には下回っていますが事業効果があったとさせていただきますと思います。</p> <p>それではNo.5をお願いします。</p>
長尾政策担当	<p>続いて、「美幌町まちづくり活動奨励事業」です。こちらは、住民自らの知恵と行動により、まちづくり諸活動を支援するものとなっております。自治基本条例に基づく住民自らの行動が反映される事業となっております。平成29年度の実績額は902,000円、指標は事業の利用件数3件、平成29年度の実績値は1件、そのため「指標値を下回ったものの事業効果があった」としております。この理由としまして、今回実施の事業において交流の場として、まちなかの賑わいに効果があったと考えます。</p> <p>指標値を下回った理由に、年間予定しているソフト事業が2件分、ハード事業が1件分であるが、当該年度においてハード事業が1件のみで、ソフト事業は申請が無かったということによります。</p> <p>今後の方針としましては、町民による自発的なまちづくり活動はこれからも重要であり、この活動に対する町の補助が必要であることから、「事業の継続」を方針としています。以上です。</p>
横山会長	何かご意見等ございますか。
広島総務部長	制度的には良い制度であります。町の方のP Rも不足しているのかと思いますけど、どこかの団体だとか、そういう意向を持った方達が集まった任意の団体でも全然構わないので、「こういった所に勉強に行きたい」とか、そういったものについては、どんどん活用出来る中身で、予算も200万、実績が少なくても毎年定額を付けているので、委員の皆さんの中でもP Rしていただければ、ありがたいと思います。年齢制限も

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>設けていないので、高校生とかも何人かでこういう勉強をしに、ここに行きたいとか、そういうものがあれば、中々お金の出しどころが無いので、そういったものを活用出来るような形でということで、対象者としては広く、条件として大きな制限を付けていない。PRをしていただければと。</p>
横山会長	<p>今、部長が言われた部分の考えで行くと、予定では、ソフトが2件、ハードが1件という数字的に2件とか1件とかあって、ここのこだわりとかは全く無いですか。</p>
広島総務部長	<p>無いです。</p>
小室政策主幹	<p>予算上、こういう様なことを想定していますよということだと思います。</p>
広島総務部長	<p>多く使われて予算が足りなくなったら、補正します。認可したものについては全部補助します。</p>
横山会長	<p>事前に使い勝手の良いと言っては失礼かもしれないけど、そういう様な部分でございますので、委員の方々も積極的にPRしていただければと思います。</p>
小室政策主幹	<p>外部有識者の意見も、「もっと積極的にPRして欲しい」と入れさせていただきます。</p>
横山会長	<p>お願いします。 それでは、評価につきましては、数字的には3件のところ1件で下回っていましたが、その1件につきましては非常に事業効果があったということでございますので、外部評価につきましても、同じ評価にさせていただきたいと思っております。意見として、「積極的なPRを図る」ということを付け加えていただこうと思っております。 No.6、お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>続いて、「美幌町まちづくり参画プロジェクト」です。こちらの事業内容は、地域の学校を活用し、学生ならではの意見・アイデアによるまちづくり活動を支援するもので、将来的には地元に残る若しくは帰ってくる学生を育成することを狙いとした事業です。平成29年度の実績額は約247,000円、指標はプロジェクト件数2件、これに対して平成29年度の実績値は1件ということで、「指標値を下回ったものの事業効果があった」としております。この内容としまして、美幌伝道大使として任命した美幌高校地域資源マテリアル班の学生が主体となり、保育園児や小学生に「食育」を通じて地域の魅力を発信でき、また、地域資源マテリアル班が、高校生チャレンジグルメコンテストでユープさっぽろ賞を受賞し、町のPRを行うことができたとしております。 今後の方針としまして、「事業の継続」、その理由として学生を主体とした活動を継続すると共に、新たな掘り起こしにより学生の更なるまちづくり活動を支援するとしております。以上です。</p>
横山会長	<p>何か皆さんの方からご意見等ございますか。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>小室政策主幹</p> <p>横山会長</p>	<p>会長が知っていれば教えていただければと思いますけど、最終的にコープで商品を買ったのですけど、何食位だったのでしょうか。</p> <p>2月の約1ヵ月間、全道のコープで販売させていただいて、特にオホーツク管内、北見、美幌管轄は、1ヵ月間、全道で1週間、全部で確か2,000食だったと思います。美幌のコープでは初日に100食売る予定だったのが、追加で200食、そういう形で商品については、全て完売させていただいたという状況です。後、付け加えさせていただくと、下側の3行目に書いてある循環型農業テキストの関係で、最近の話ですが、美幌中学校が修学旅行で札幌に行った時に、このテキストを用いて道庁の赤レンガ前でこのPRをしたというのがあって、そこでその札幌の人が感銘を受けて、商品の発注が美幌笑顔プロジェクトに来たという中で、中学校が修学旅行へ行って美幌町をPRしてきた効果が徐々に出て来ている成果も30年度は実際にあったということでございます。</p> <p>何かご意見等ございますか。それでは評価につきましては、指標値を下回りましたが、事業効果があったと外部評価もさせていただきたいと思えます。</p> <p>No.7、お願いします。</p>
<p>長尾政策担当</p>	<p>続きまして、総務省が進めております「地域おこし協力隊事業」です。こちらの内容は、一定期間、地域に居住して、地域のさまざまな課題について協力活動をしてもらい、美幌町への定住・定着を図るといったものです。平成29年度の実績額は1,517,000円、指標は2つ立てておまして、地域協力活動案件指数2件、協力隊員数2人、それぞれ平成29年度の実績値は活動案件数が2件、隊員数が1人としておまして、「指標値を下回ったものの事業効果があった」としておきます。活動案件は、林業振興と観光振興に関する案件の2件で、採用は、観光振興分野で1名となりましたが、町初の協力隊員を採用できたとしておきます。</p> <p>今後の方針としまして、今後も新たな地域協力活動の掘り起こしを行い、地域の活性化及び人材育成を図り事業の継続をして行くとなっております。以上です。</p>
<p>横山会長</p>	<p>ただ今説明していただきました部分につきまして、皆さまからご意見を賜りたいと思えます。よろしいですか。</p> <p>それでは、意見が無い様でございますので、外部評価につきましても、指標値を下回りましたが、事業効果があったとさせていただきたいと思えます。</p> <p>それでは続いてNo.8になりますが、ここからが、先ほど言いましたように、今日、机の上に配布させていただきました資料と差し替えをしていただいて、その資料の方を見ていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。No.8、よろしくをお願いします。</p>
<p>長尾政策担当</p>	<p>申し訳ないのですが、このNo.8は、削除ということで、次のNo.9に進みたいと思えます。「ICT教育環境整備事業」です。こちらの内容は、町内の小中学校でICTを活用し、確かな学力を育成する教育を推進するというものです。平成29年度の実績額は約16,995,000円、指標は国の整備指針に基づくICT機器必要数3校、平成29年度の実績値は5校となっております、「指標値を達成し事業効果があった」としておきます。評</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>価理由は、国の整備目標に準じてタブレットPC、実物投影機等のICT機器を導入し、授業で活用され、児童への教育効果が高まったとしております。</p> <p>今後の方針としまして、「事業の継続」、その理由としまして、整備計画に基づき順次ICT機器を充足し、児童生徒の学力向上を図るとしてあります。以上です。</p> <p>ただ今の説明につきまして、何かご意見等ございますか。</p> <p>無い様でありますので、外部評価につきましても、指標値を達成し事業効果があったとさせていただきますと思います。</p> <p>それではNo.10、お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>はい。「少人数学級推進事業」です。こちらの内容は、きめ細かな学習指導環境を整えることを目的に、各小学校の全学年で35人学級を実現すべく、期限付教諭を任用するというものです。平成29年度の実績額は0円、指標は町費負担教員1人、平成29年度の実績値は0人となっており、標値を下回ったものの事業効果があったとしてあります。評価理由は、平成29年度は町費負担教員を配置しなくても、すべての小学校の全学年で35人学級が可能となり、児童にきめ細かな指導を行うことができたとしてあります。</p> <p>今後の方針としまして、「事業の継続」、その理由としまして、今後も未来を担う子どもたちの学力向上を図るため、教育環境の整備を推進していくとしてあります。以上です。</p>
横山会長	<p>何かご意見等ございますか。</p> <p>それでは、意見は無い様でございますので、外部評価につきましても平成29年度は35人学級が可能になったということで、数字的には0人となりましたが、そこまでの予定はしなくて良かったということです。数字的には下回りましたが、事業効果はあったと外部評価もさせていただきますと思います。</p> <p>No.11、お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>続きまして「学力向上支援事業」です。こちらの内容は、一人ひとりに応じたきめ細かな学習指導を行い、基礎的・基本的な学力の定着を図ることを目的に、小学校教育支援員を配置し、習熟度別学習を実施するというものです。平成29年度の実績額は約4,892,000円、指標は教育支援員3人、平成29年度の実績値は3人、効果は「指標値を達成し事業効果があった」としてあります。評価理由は、教育支援員を配置することにより、習熟度別少人数指導等のきめ細かな学習指導を行い、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着が図られたとしてあります。</p> <p>今後の方針としまして、「事業の継続」、その理由としまして、今後の未来を担う子どもたちの学力向上を図るため、教育環境の整備を推進していくとしてあります。以上です。</p>
横山会長	<p>何かご意見等ございますか。</p> <p>無いということで、外部評価につきましても、指標値を達成し事業効果があったとさせていただきますと思います。</p> <p>No.12、お願いします。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
長尾政策担当	<p>はい。「博物館との連携事業」です。こちらの内容は、博物館の学芸員と教諭との連携により、美幌町の自然体験や観察会などを実施し、地域への郷土心の養成と特色ある授業を実施するというものです。平成29年度の実績額は約61,000円、指標は連携事業実施校5校、平成29年度の実績値は5校のため「指標値を達成し事業効果があった」としております。評価理由は、小中学校と博物館との連携による体験学習により、地域資源を活用した学校教育の充実が図られたとしております。</p> <p>今後の方針としまして、「事業の継続」で、その理由としまして、今後も地域資源を活用した博物館との連携事業を推進していくとしております。以上です。</p>
横山会長	何かご意見等ございますか。はい、村田委員。
村田委員	継続なのに、平成30年度の予算が0円というのはどういうことでしょうか。
長尾政策担当	実際に自然体験や観察会だけだとお金は掛らないと聞いております。
広島総務部長	<p>この事業というのは、予算付けはしていません。一般の消耗品だとか必要に応じて支出をして行くということなので、予算としては、この名称ですとか学校と博物館の連携事業の予算というのは予算措置をしていない。既存の予算の中から掛かる分だけ使うということで、予算は0円となっているのだと思います。実績額としては、掛かった分を拾っていただいている処理を博物館の方でしているのだと思います。この事業名では予算付けしておりませんので。さっき言った通り、基本的にはお金は掛らないだろうということで事業をやっているのだと思います。</p>
横山会長	よろしいですか、村田委員。
村田委員	はい。
横山会長	<p>他、ご意見等ございますか。</p> <p>無い様ですので、外部評価につきましても、部局同様、指標値を達成し事業効果があったとさせていただきたいと思っております。</p> <p>それではNo.13をお願いします。</p>
長尾政策担当	<p>はい。続いて「学生ボランティア学習サポート事業」です。こちらの内容は、夏季・冬季の長期休暇中の小中学生に東京農業大学の学生が勉強を教え、児童・生徒の学力向上を図るというものです。平成29年度の実績額は約13,000円、指標は学習サポート事業参加人数2,000人、平成29年度の実績値は1,965人ということで、「指標値を下回ったものの事業効果があった」としてしております。評価理由は、平成29年度は、大学の前期試験期間と重なるなど、派遣学生の確保が厳しい状況であったが、学生ボランティア1名の派遣が可能となり、学習サポートを行うことができた。しかし、1名のみ派遣となったため、全ての学校に派遣できず、指標値を下回る結果となったが、継続した学習習慣の定着が図られたとしております。</p> <p>今後の方針としまして、「事業の継続」、その理由としまして、今後も</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	基礎学力の向上と学習習慣の定着を図るため、学習サポート事業を継続していくとしております。以上です。
横山会長	何かご意見等ございますか。はい、村田委員。
村田委員	事業内容の所に、東京農業大学と書いてありますが、今年、北見工業大学の学生だった様な気がするのですが。
小室政策主幹	これは平成29年度の内容です。
村田委員	事業内容のところに、この様に東京農業大学と書いてあるのは、どうなのか。事業内容は変わらないのでは。その都度変わるのか。
小室政策主幹	確認してみます。それで、例えば平成30年度が東京農業大学ではなくて北見工業大学だったら、「近隣の大学」だとかにしないと、ここは整合性が取れなくなるということで、確認を取らせていただきます。
村田委員	元々、何で東京農業大学になったのかと思っていたものだから、工大には働きかけなかったのかと思っていたのですよ。
横山会長	自分も今、村田委員と同じ様な考え方で聞いてみようと思っていたのですよね。なぜ、東京農大なのかということと、東京農大でボランティアが1人しか可能でなかったら、やはり北見工大とか近隣の大学にも声掛けをするべきだったのではないかというニュアンスを持ったものですから、その辺、事業内容がどうなのか。
小室政策主幹	意見として書いておきます。
横山会長	はい。 他、ご意見等ございますか。 それでは、外部評価につきましても、部局同様、数字的には下回りましたが、事業効果があったことと、意見として、村田委員も含めまして発言した部分につきましては、有識者からの意見とさせていただきたいと思えます。 それでは続いてNo.14、お願いします。
長尾政策担当	はい。「国際交流事業」です。こちらの内容は、平成4年からニュージーランド・ケンブリッジ地区と友好姉妹都市の関係が継続されておりますので、高校生短期交換留学を実施し、また、隔年でケンブリッジ高校から短期留学生の受け入れも行うというものです。平成29年度の実績額は約702,000円、指標は2つ立てておりまして留学生の人数2人、ケンブリッジ訪問団の来町人員6人、平成29年度の実績値は留学生1人、ケンブリッジ訪問団が10人来町となり、「指標値を下回ったものの事業効果があった」としております。評価理由は、美幌高校からケンブリッジ高校へ短期留学を1名派遣しております。また、地域との人的交流が継続でき、生徒自身においても将来を考える非常に良い機会となっております。なお、指標値を下回ったのは希望者が1名だったことによります。また、美幌・ケンブリッジ友好姉妹都市調印20周年記念でケンブリッジより10名の訪問団が来町し町民との交流を深めたとしております。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>今後の方針としまして、国際社会に対応する人員の育成は今後も必要であるため、「事業の継続」としております。以上です。</p> <p>何かご意見等ございますか。</p> <p>それでは、意見は無いということでございますので、外部評価につきましては部局同様、数字的には下回りましたが、美幌高校の生徒並びに受入につきましては、事業効果があったとさせていただきたいと思えます。</p> <p>それではNo.15、お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>続いて「美幌高校寄宿舎運営補助事業」です。こちらの内容は、美幌高校寄宿舎に入寮している生徒支援と、道内外から入学する生徒への寮確保を目的とし、寄宿舎の維持運営を図るという事業です。平成29年度の実績額は約721,000円、指標は入寮者数6人、平成29年度の実績値は8人、「指標値を達成し事業効果があった」としてしております。評価理由は、寄宿舎を維持するため、補助金を活用し、入寮者の生活の支援が可能となった他、今後入学してくる入寮希望者の確保に繋がり、また、入寮希望者が増えることによって美幌高校への入学者数の増加に繋がったとしております。</p> <p>今後の方針としまして、今までは事業の継続としていたのですが、差し替えをし、「事業内容を見直し発展させる」としてしております。</p> <p>今後の方針の理由としまして、遠方からの入学者の受け入れを可能とするために寄宿舎を維持し、新たに生徒募集のPR活動を行うことにより、道内外からの入学者を増やし、生徒数を確保するとしております。</p> <p>なお、こちらは事業内容を見直し発展させるということで、これにより平成30年度の前算額が0円となっております。また、平成30年度からは、美幌高等学校教育支援事業に振り替えを行っており、内容として、生徒募集のPR活動も加えております。以上です。</p>
横山会長	<p>表を見たら、当然平成29年度の成果しか分からない。平成30年度は今言った形で名称を変更した予算付けになっているということでご理解をいただきたいと思えます。何かご意見等ございますか。</p> <p>それでは、評価につきましては指標値を達成し事業効果があったとさせていただきます。No.16、お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>はい。次に「防災対策事業」です。こちらの内容は、災害予防を実施するにあたり、防災資機材を計画的に整備する。また、町民の防災意識の向上を図ることを目的に、地域と連携した避難行動訓練や図上訓練を実施、家庭用備蓄の普及啓発など、防災体制の強化を図っております。平成29年度の実績額は約13,743,000円、指標は防災訓練参加者数100人、これに対し平成29年度の実績値は189人であるため、「指標値を達成し事業効果があった」としてしております。評価理由は、地震を想定とした避難行動訓練を開催と図上訓練を開催し、防災意識の向上が図られたことと、防災資機材については備蓄計画に基づき計画的に整備し、個別配布用の非常用持出品を継続的に配布するなどの取組みにより、より一層の防災体制の強化が図られたとしております。</p> <p>今後の方針としまして、「今後も継続して訓練の実施や防災資機材の整備を進め、防災・減災対策の強化を図るため事業の継続」としていま</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>す。以上です。</p> <p>何かご意見等ございますか。 意見が無いということですので、外部評価につきましても、指標値を達成し事業効果があったとさせていただきたいと思います。 それでは最後No.17、お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>はい。「自主防災活動推進事業」です。こちらの内容は、各自主防災組織において、災害時に備えた設備を整えるとともに、町民と関係機関が連携した自主防災訓練及び地域避難訓練を実施し、日頃の防災意識の向上と防災体制の強化を図る。また、未設立団体への積極的な働きかけを行い設立、促進を図るとしております。平成29年度の実績額は約800,000円、指標は自主防災組織の結成率73.75%、平成29年度の実績値は64.96%、事業効果は「指標値を下回ったものの事業効果があった」としてしております。評価理由は、自治会連合会による訓練などを通して、未設立自治会への働きかけなど、積極的な取組みは行ったものの、新規設立までには至らなかったが、新たに自主防災資機材及び自主防災資機材等収納倉庫の設置を行い、地域の防災体制の強化を図ることができたとしております。</p> <p>今後の方針としまして、「事業の継続」、今後も継続した働きかけを行い、防災・減災対策の強化を図るとしてしています。</p> <p>今回差し替えをした理由ですが、最初に配っていたものと今回配ったもの、平成29年度から30年度にかけて組織図の算定方法の見直しを行ったことによるものでございます。以上です。</p>
横山会長	<p>何かご意見等ございますか。</p> <p>平成28年度までは率の関係では、自治会の未加入世帯も含めない数字になっていたのを、平成29年度から未加入世帯も含めることになったということで、平成28年度66.70%が平成29年度64.96%になって、未加入世帯を含める、含めないによって数字が変わったということです。</p> <p>何かご意見等ございますか。 意見が無いということでございますので、外部評価につきましても、指標値を下回りましたが事業効果があったとさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、ありがとうございます。以上で前回の会議に渡り2日間ではありましたが、平成29年度のそれぞれの結果報告をさせていただきました。改めて、何か全体を通して皆さんの方からご意見等ありますでしょうか。</p> <p>無ければ次の次第にあります、3番目であります「基本戦略ごとの数値目標・K P Iについて」ということで、事務局の方から説明をお願いいたします。これも前回お配りしましたが、今日、机の上に配布させていただいた新しい書類番号3を最終としていただきたいと思いますので、これで説明を受けたいと思います。</p> <p>次第3 基本戦略ごとの数値目標・K P Iについて</p>
長尾政策担当	<p>それでは、書類番号3をご覧ください。こちらは、総合戦略に記載の数値目標や各施策のK P Iについての一覧で、年度ごとの進捗状況と平</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>成29年度までの進捗率が記載されております。先ほど行った各個別事業とは異なり、1つの事業に対して1つの目標があるというのではなく、それぞれの効果の先にあるもっと大きな目標を設定しています。この数値目標を参考に、進捗が良くない施策、目標について、改めて個別事業を考察していくといった活用をしております。</p> <p>それでは早速説明をしたいと思います。</p> <p>基本目標1、数値目標の1番目「農畜産物の販売額」ですが、99億円の目標値に対して、118億1,500万円、平成29年度現在の進捗率は119.3%となっており、平成27年度から連続して数値目標を達成しております。</p> <p>2番目「認証材の出荷額」ですが、目標値2,600万円に対して700万円となっており、進捗率26.9%と大きく下回っています。この要因としまして、新築戸数の減少、伸び悩みに伴い、認証材の出荷も落ち込んでいるということです。現在、十分出荷出来る体制は整いつつあるとお聞きしていますので、新築戸数が伸びると認証材の出荷も相互して伸びる可能性があります。</p> <p>3番目「従業員数」です。こちらは、隔年実施で行われております経済センサス基礎調査の数値を基としておりますが、平成28年度以降5年に1度の調査に変更されたため、実績値の取り方を見直す必要があります。そのため、最新の進捗率としましては、平成28年度の92.3%となっております。</p> <p>次にK P Iの部分ですが、こちらは前回と今回の会議において検証と詳細の説明を行っておりますので、数値目標と進捗状況を確認させていただきます。</p> <p>まず「新規就農者数」ですが、目標値であります平成27年度から31年度までの5年間の新規就農者数及び新規農業従事者数の累計15人に対し、平成29年度が8人、平成27年度からの3年間の累計が22人となっておりますので、進捗率は146.7%です</p> <p>次に「認証林の出荷量」です。こちらは、6,000m³の目標値に対して平成29年度は1,687m³。進捗率は28.1%。先ほど説明しました、認証材の出荷額と同様、新築戸数の減少、伸び悩みに伴うものです</p> <p>次に「木育広場の利用者数」ですが、こちらは「きてらす」の利用者数です。数値目標28,000人に対して、平成29年度は23,805人。進捗率は85%です。</p> <p>続いて「特産品開発等の取組案件数」です。数値目標は、特産品開発案件数が平成27年度から31年度までの累計で10件。平成29年度は0件。進捗率は累計なので30%となっております。</p> <p>また、平成30年度より、美幌町の農畜産物及び農畜産物加工品等を活用した特産品開発や販路開拓・拡大を行う取組への補助を行い、特産品の開発及び販路拡大に努めております。</p> <p>次に、「観光入込客数」ですが、数値目標が81万人、それに対して平成29年度が72万6千人で、進捗率は89.6%となっております。</p> <p>次に、「起業案件数」です。数値目標は平成27から31年度の累計で15件、平成29年度の実績が1人、平成27から29年度の累計が11件なので、進捗率は73.3%となっております。</p> <p>続いて「店舗リフォーム数」です。数値目標は平成27から31年度の累計で104件、平成29年度の実績が20件、平成27から29年度の累計が78件なので、進捗率は75%となっております</p> <p>以上で、基本目標1の説明を終了します。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	何かご意見等ございますか。よろしいですか。 それでは、続いて基本目標2の方に進んでください。
長尾政策担当	<p>続いて基本目標2における数値目標、「20代から40代の転入者数」は433人、「20代から40代の転出者数」は516人で、両項目ともに数値目標を下回っております。この中身を紐解くと、「転出者数と転入者数の差を30人まで縮めましょう」という目標値となっているのですが、平成29年度は残念ながら83人の転出超過で、目標値を大きく下回っています。</p> <p>次にKPIの「移住体験者数」ですが、数値目標が平成27から31年度の累計で30件、平成29年度の実績が13件、平成27年度から29年度の累計は32件なので、進捗率は106.7%です。</p> <p>続いて「政府関係機関の誘致件数」ですが、数値目標は平成27から31年度の累計で1件、実績は平成27年度から全て0件なので進捗率は0%です。</p> <p>以上で基本目標2の説明を終了します。</p>
横山会長	何かご意見等ございますか。 それでは続いて、基本目標3の方に移りたいと思います。続きをお願いします。
長尾政策担当	<p>次に基本目標3ですが、数値目標の1つ目「合計特殊出生率」は、目標値1.70に対して平成29年度は1.30、進捗率は76.5%です。</p> <p>「婚姻届出数」は100件の目標値に対し平成29年度は69件、進捗率は69%となっております。</p> <p>続いて「事業を通じた成婚数」ですが、数値目標は平成27から31年度の累計で2件、実績は平成27から29年度までの累計が2件のため進捗率は100%となっております。</p> <p>次の「出生数」は、155人の目標値に対して111人となっており、これらを見ても分かると思いますが、少子化に歯止めが掛かっていない状況となっております。</p> <p>続いて「子育て支援施設16施設」ですが、記載の16施設を維持しているため、進捗率は100%となっております</p> <p>以上で、基本目標3の説明を終了します。</p>
横山会長	何かご意見等ございますか。 無い様でございますので、次に基本目標4をお願いいたします。
長尾政策担当	<p>次に基本目標4ですが、数値目標の1つ目「美幌町に住み続けたい」と思う人の割合及び若年世代の「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と思う人の割合については、平成29年はアンケートを実施しておりませんが、先日、町民2,000名を抽出してアンケート調査を実施しており、その集計結果が出ましたので、お知らせしたいと思います。まず、1つ目の「美幌町に住み続けたい」と思う人の割合は、76.5%で、進捗率は90%となっております。2つ目の若年世代の「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と思う人の割合は81.4%で、進捗率は101.8%という結果が出ています。</p> <p>続いてKPIの「空き店舗活用件数」は、目標値が平成27～31年度の累計で10件。平成29年度の実績は3件で平成27年度からの累計ですと8件であるため、進捗状況は80%となっております。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>次の「バス利用者」は、目標値37,000人に対して平成29年度が33,294人の実績で、進捗率は90.0%となっています。前年度と比べると約2,300人の増加となっている状況です。</p> <p>続いて「住民主体による地域活動件数」ですが、こちらは先ほど説明しました、まちづくり活動奨励事業及びまちづくり参画プロジェクト件数の合算値を件数とし、目標値は平成27から31年度の累計で16件、実績が平成27年度からの累計で6件のため、37.5%の進捗率となっております。</p> <p>その下の「町内小中学校の学校評価における児童・生徒アンケート結果、その項目のうち「自分で考え行動・発表する」など自主的行動の評価が平均3.0以上」についてですが、目標値が3.00、平成29年度の実績が3.13、進捗率が104.2%です。</p> <p>次に「自主防災組織の結成率」ですが、数値目標73.8%に対して、平成29年度は64.96%なので、進捗率は88.1%です。こちらは先ほど説明しておりますが、差し替えをしております。</p> <p>以上で説明を終了しますが、基本目標1から4の進捗率が100%を超えているものについては、数値目標の見直しを検討しなければならないと考えております。以上です。</p>
横山会長	<p>今、基本目標4について、ご説明をいただきました。合わせて基本目標1から4まで通して何かご意見ご質問等がありましたら、承りますが。</p>
信太委員	<p>単純な文字の間違いですけど、基本目標1の「観光客入込客数」ではなくて「観光入込客数」というのが一般的で、基本戦略の方でも「観光客入込客数」となっているので。それと、同じ行の右の方の「美幌峠観光客入込客数」を「美幌峠観光入込客数」にしてください。</p>
小室政策主幹	<p>はい。</p>
横山会長	<p>他、何かございませんでしょうか。</p> <p>最後に言った100%超えた部分につきましては、目標値等々の見直しを掛けるという話ですけど、100%超えた部分だけ見直しを掛けて、超えない部分、足りない部分は見直しを掛けないという考え方ですか。ちょっと意味合いが分からないのですけど。単純な考え方として。</p>
広島総務部長	<p>当初計画を設定した時の下方修正はあまり良くないのだろうと思いますので、それに向けて、どう努力して行くかということだと思いますので、下方修正は極力しないという方向で行きたい。</p>
横山会長	<p>はい、了解です。</p> <p>何か他ございませんか。よろしいですか。</p> <p>それでは、次第の3も全てこれで終わらせていただきたいと思いません。</p> <p>続いて、次第の4、「その他」ありましたら、事務局の方から説明をいただきます。</p> <p>次第4 その他</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
長尾政策担当	<p>それでは、その他ということで、今後について説明させていただきます。前回及び本日、皆さまに評価していただいた結果については、意見があったものについては、それを各担当部署に戻していきたいと思えます。それを基に、各担当で対応できる場所は対応してもらい、その後、役場の主幹職で組織されているプロジェクトチームや、町長を本部長とする本部会議に掛けていきたいと思えます。最終的には議会に報告することになっており、議会からも何か意見が出て来ると思えますので、そこでまた改善点等が出てくれば、基本目標やK P Iの進捗状況と照らし合わせながら、来年度以降に向けた改善や新規事業について考えていきたいと思えますので、よろしくお願ひします。</p> <p>また、次回の会議については、未定ではありますが、できれば10月中旬から下旬頃に開催したいと考えています。</p> <p>10月中旬から下旬というのは、次年度の予算要求が始まる少し前なので、次年度向けてより良い方策を考える時期でありますので、皆さまの考えや要望を伝えて行くには良い時期かなと思っているところです。会議日程については、事前に調整を行いますので、よろしくお願ひします。以上です。</p>
横山会長	<p>この後の方向につきましては、今、説明された通りでございます。次回の会議はできるのであれば10月中旬から下旬という予定ですが、その前に議会の報告等も全て終わっているという考え方で良いですか。</p>
広島総務部長	<p>はい、10月には行いたいと思っています。</p>
横山会長	<p>それでは、今説明ありました通りでございます。次回の会議につきましては、10月中旬から下旬、議会の報告が終わり、何かしらの意見をもらった後また皆さまのところに報告をさせていただく会議となろうかと思えます。</p> <p>その他について何かご意見等ございますか。全体を通してでも結構でございます。無ければ終わりたいと思えますがよろしいですか。後事務局の方から何かありますか。</p>
小室政策主幹	<p>ありません。</p>
横山会長	<p>それでは、次第の閉会を水島副会長が申し上げて終わりたいと思えます。</p>
水島副会長	<p>皆さん、お疲れ様でした。毎回会議に参加させていただきまして、感想になってしまうのですが、ちょっと述べさせていただくとすると、美幌中学校の方がパンフレットを配って、感銘を受けた方いて、そういうPRをされたことが、とても感銘を受けまして、もっと出来るのではないかと思ったのですが、美幌町は、子供たちが色々頑張っていて、全道大会、全国大会などに出ている子たちとかも沢山いらっしゃると思うけど、その時にパンフレットなどを配るということも1つ手ではないかと。町のお金の補助なども受けているので、その恩恵ではないのですが、そういうことも出来たらいいのではないかと思ったところでございます。美幌町は本当に子供たちも頑張っていますし、町の皆さんのご協力とご理解があって、子供たちが頑張れる町でもあるというの</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>は、素晴らしい町ところだなと思っている一母親であります。感想しか述べれないので申し訳ないのですが、皆さん、今日はお疲れ様でした。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">了</p>